

東雲研修センター
旧みらいエコリフォームセンター
東雲だより2019

8月号VOL.103

冷夏だと思ったらどんでもない盛夏
でした。みなさん、熱中症に
ご注意ください！男性用の日傘が人気だとか。



パナソニックのEV用の
充電用コンセント。
優れものなのに、なんと
値段は2千円台。会社と
我が家でも使ってます。

①7月研修会および見学会報告

②「木を使った新国立競技場」特集

③荒尾先生寄稿「緊急 悲惨放火全焼建物と建築関連法」

④ラボ紹介「長谷エテクニカルセンター」

*みらいエコリフォームセンターは、東雲研修センターに名称が
変わりました

7月研修および見学報告



HAT社員PAC施工研修



高砂熱学工業様研修会



サンコー機材様見学研修



シスバス現調研修

7月研修会、見学会の実績をご報告します

- 7/3 YHK器材様研修会
- 7/5 ダイキン、OK機材研修打合せ
- 7/9 インストール研修/システムバス現調
- 7/11 サンコー機材様研修・見学会
- 7/16 ジャパン建材様見学会
- 7/19 高砂熱学工業様新人研修会
- 7/23 HITエンジニアリング様見学会
- 7/27 HAT社員PAC施工研修
- 7/30 高砂熱学工業様新人研修第2班

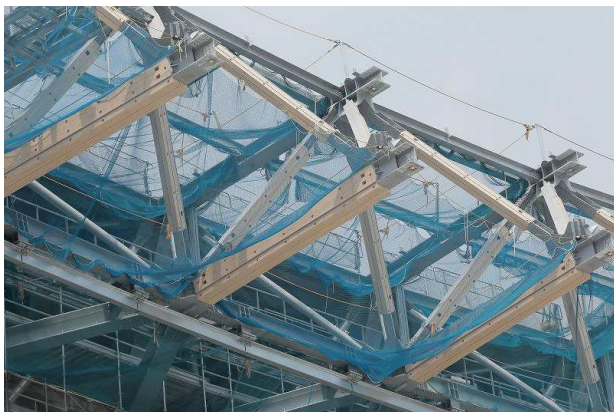
「建築家・隈研吾がかたる杜のスタジアム（木を使った新国立競技場）」

YAHOOニュースより

2019年11月30日の完成を目指し、建設が進んでいる「新国立競技場」。「杜（もり）のスタジアム」と題し、木材と鉄骨を組み合わせた構造の屋根や庇（ひさし）によって、明治神宮外苑とも調和するデザインを採用している。なぜ、スタジアムで「木」を用いた建築なのか。

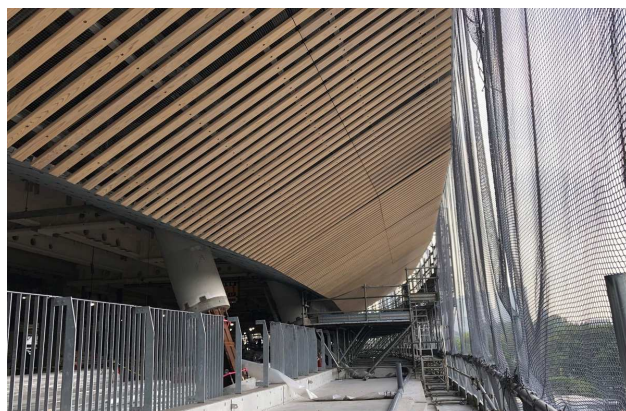
「大きな建物はコンクリートで造るという20世紀の常識を壊したい」と、設計に携わった隈研吾氏は語る。

「今回のプロジェクトの一番の目的は、大きな建物も木を使うことができるし、もっと人間のための空間として取り戻すことができると見せることだったんです。新国立競技場は、巨大な集成材を使って建てる大型木造ではなく、日本の住宅でも使われている10.5cm幅の小さな木材を使っています。日常的に使われていてどこでも手に入る材料でも大きな建物を造ることができる。それはただ技術的な可能性を見せるだけじゃなくて、今後の社会の在り方に対する一つのヒントになると思っています。」



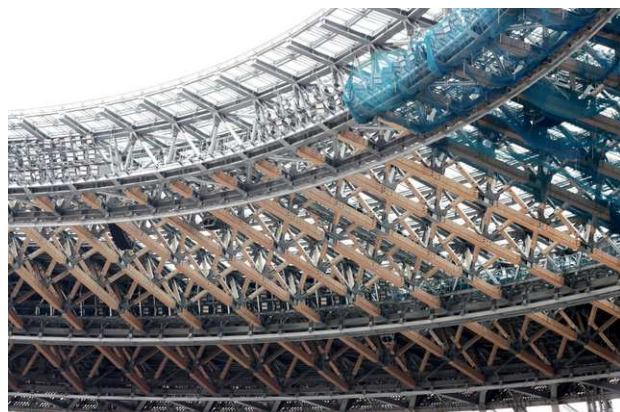
毎日新聞

A案で木が使われた箇所は、まずスタンドを覆う屋根である。これを支える片持ちのトラスを木と鉄のハイブリッド構造とし、下弦材には国産カラマツ集成材、ラチス材には国産スギの集成材を使用している。



隈研吾建築都市設計事務所

外周部の庇部分は、国産の杉材であり、全国各所から調達できるように10.5cm巾の木材にしている。



毎日新聞



シブヤ経済新聞

隈 研 吾（くま けんご、1954年〈昭和29年〉8月8日 - ）は、昭和・平成・令和時代の日本の建築家（一級建築士）。神奈川県横浜市出身。著名な親族として、妻・篠原聡子（建築家）のほか、遠い親戚の後藤勇吉（航空機パイロット）がいる。

株式会社隈研吾建築都市設計事務所主宰。東京大学教授。1990年代半ば以降（ゆすはら座関連設計以降）、木材を使うなど「和（日本）」をイメージしたデザインを旨としており、「和の大家」とも称される。

（出典：wikipedia）



毎日新聞

一級建築士 荒尾 博

先月京都で悲惨な放火事件がありました。お亡くなりになった方々のご冥福をお祈りいたすと同時に被災された方々の心身共に回復されることを願っております。

1. 想定外のガソリンの爆燃

建物にとって防火対策は最重要です。その意味から京都アニメーションの建物は2007年新築で、建築関連法や消防法などをクリアし、その設備や日頃の防災訓練の実施などから2014年には防火対策で消防から表彰されていた建物です。一方、今回はガソリンを撒いて火を付けるというテロで爆弾爆発させたのと同じ最悪の状況で建物に対応できる防火レベルをはるかに逸脱しています。

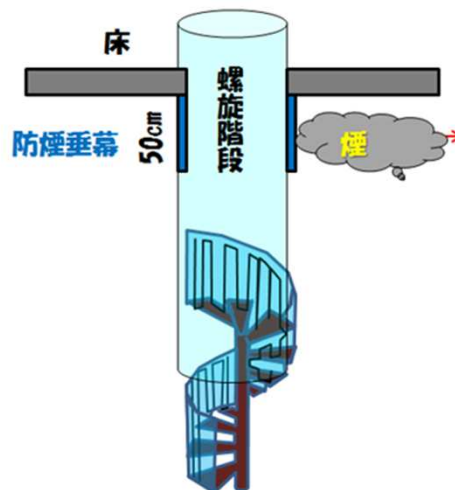
ガソリンは -40°C で気化し着火します。映画など、ライターで着火するシーンを思い浮かべると思いますが、密室でまき散らしたガソリンは火を付けた瞬間はそんなものではなく、爆発するようになる「爆燃現象」になり、その衝撃波で周辺の開口部のガラスは瞬時の破壊され。一気に外気の酸素でさらに激しい炎が燃え上がったのだと思います。

2. 螺旋階段

玄関ホールに螺旋階段があり、各階の作業空間に解放されていたことは、被害を甚大にした最大の問題です。普通、事務室と階段は隔離されていますが、この建物はそうでは無かった。しかも、典型的な「労働集約型事務所」で螺旋階段ぎりぎりまで机や書類棚などが置かれ避難上問題だったと思われます。



画1 2階のイメージ



画2 螺旋階段と防煙垂幕

螺旋階段にはガラス製の防煙垂幕がありました。この役目は火災で発生して煙が天井を伝い上階へながらにくくするもので、今回のような、螺旋階段を煙突として気化ガソリンの爆燃旋風の通り道になった場合は、殆ど役目を果たせなかったと思います。

3. 屋上非常口

避難階段が無かった、もう一つの問題視されていましたが、この建物は3階建てで螺旋階段とは別に通常の階段があり、平面図から推測するに居室とは防火的な仕切りがあったと思われます。火災発生時に多くの方はこの階段から屋上を目指したのでしょうか。屋上の階段は施錠されていたとか当初報道されていましたが、消防署の見解では屋上から開いたということで、避難扉として問題は無かったようです。そのことより気化ガソリン爆燃延焼スピードが速く、階段にたどり着く前に一酸化中毒症状を起こし、その前に折り重なって倒れてしまったようです。

以上考えてみると新築時の建築消防関連法違反は無く、ガソリン放火という特殊性があって、どう対策すれば良いかと今後の教訓という、やはり螺旋階段が労働集約型事務所に開放されていたことに尽きます。普段の動きについて邪魔な存在だとしても階段のを不燃材で囲み、自動で閉まる防火戸があればと思いました。

防火上の安全を見る目でみなさまの職場について見ることも大切では無いでしょうか

今回は、京王線多摩センター駅に近い長谷工テクニカルセンターに行ってきました。
長谷工グループの総業80周年記念事業として開設されました。



総合的な技術センターを集約しており、「長谷工マンションミュージアム」「長谷工技術研究所」「長谷工グループ技術研究センター」「長谷工コミュニティアウル24センター」から構成されます。実際にお住まいの方の目線に立った安全・安心・快適に住まうための研究、技術開発を行い、情報発信しています。

初めての方は、マンションミュージアムがお薦めです。マンションの歴史や暮らしと住居の変遷がよくわかります。

住所東京都多摩市鶴牧3-1-1
予約受付 0120-808-385
営業時間 10時～17時

東雲だより8月号”編集後記 ☆ドルチエ☆ — 桃 —

夏本番！くだもの美味しい季節真っ只中ですね！
夏は桃、スイカ、メロン、プラム、さくらんぼなど旬のものが多いですが、私は何と言っても桃が好きです。それも、熟れて柔らかいジューシーな桃ではなくて、汁気の無い、リンゴのように硬い歯ごたえの桃が！でも硬い桃ってスーパーでは手に入らないので、近所でお目にかかれる機会が無いのが残念です。

でも、今年も初物でゲットしちゃいました～！私は良くフリマアプリを利用してはいるんですけど、そこに農家さんが農協には出せないB級品を出品していて、直接購入することができるんですよ～っ！青果は大体朝収穫してその日のうちに発送、翌日には届くので、念願だった硬い桃も手に入るんです。今回は山梨の農家さんから18個入りが届きました。配送業者のミスがあって、箱が横から挟まれたように潰されてしまっていて、その影響で中の桃も2つ程傷物になってしまいましたが、さすがは硬い桃。ぶつかってできた傷が凹みではなくて、スパッと裂傷になっていました！本当にリンゴみたいです。これが完熟の桃だったら.... (o_o;)



フリマアプリだと、あまりスーパーでは見かけない珍しい品種の桃も買うことができるので、オススメですよ～。ちなみに珍しいくだものや野菜もたくさん出品されているので、グルメな方はぜひ覗いてみてくださいね♪

佐藤深雪

橋本総業

東雲研修センター

〒135-0062 東京都江東区東雲2-9-7 東京配送センター内
TEL.03-3527-5900<代> 営業日▶月～金9:00～17:00 土:応相談

●お問い合わせは
TEL.03-3527-5628 FAX.03-3527-6070

お問い合わせは

